

R-18
FOR
ADULT

純
情
恋
心
情

兎
情
狐

-4-





ワカモ

先生に恋をしている
好きすぎて発情期がくる体質になる

発情期のときに肉体関係を結ぶ間柄
恋人同士ではない
ほぼセフレ



先生

デリカシーはあまりない

純情

恋愛

兎情狐





回づけをして
肌に触れて

私の中の
奥深くまで
先生をお迎えしたい

膣に熱い精液を
注がりたい



先生

先生

先生

もう
お休みになって
おられますか

それともまだ
お仕事中でしょうか



少しだけ

少しだけ



どうしたの？
ワカモ

もしもし？



私に、お声を
聞かせてください！



お忙しいところ
申し訳
ありません
あの…
どうしても
お声が
聞きたくて…

アハハッ
聞こえて
おります!!

ん？あれ？
聞こえてる？
……？



はい！
したいですッ



そっか
じゃあ、
ちよつと
お話でもする？









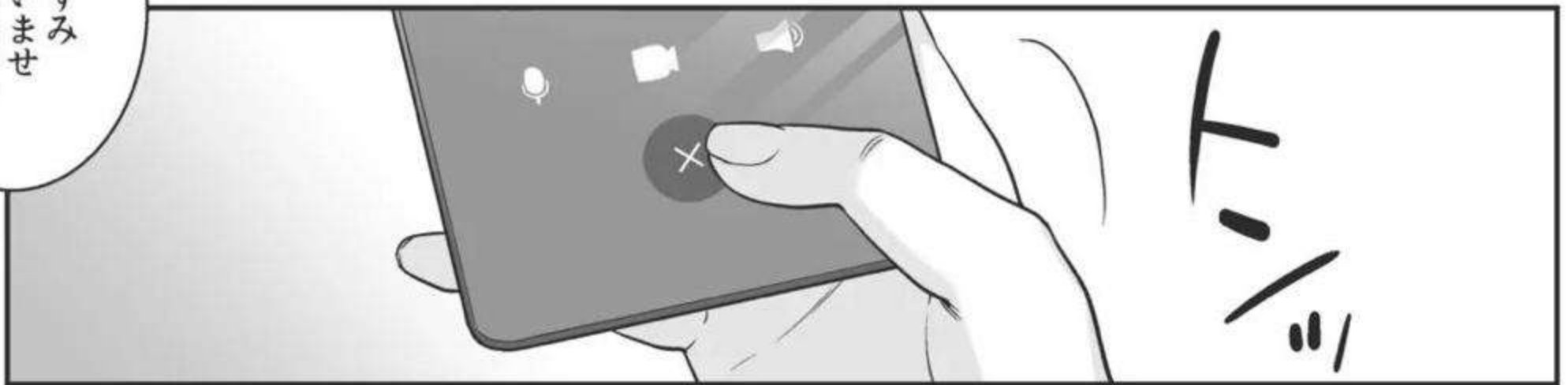


















遅くなって
ごめ…

ワカモ!

あなた様…っ

よくぞ
ご無事で…!!





ゆつくり
お休み
ください♡

まっ



待って…っ

おっ



あなた様の
ご無事を
確認できた
ことですし、

私、本日はこれにて
お暇いたします

えい



それに

……これ以上、
あなた様を
苦しめるわけには
参りません



ワカモ、
発情期で困ってるから
私を頼って
来てくれたんでしょ
それなら…

ご心配には
及びませんわ
昨晚存分に
良くしていただき
ましたし…

生徒である
私と肉体関係を
築くことに
あなた様が
肯定的ではない
ことは

本当は、理解
しているのです

分かっているながら、
私はあなた様に
甘えて、すがって、
たぶらかして
優しさを、利用して……

そのせいで、
私はあなた様を
危険な目に
遭わせて
しまいました

私が急かしたり
しなければ、
あなた様は
事件に巻き込まれる
ことなど
なかったのに……

ごめんなさい
ごめんなさい……

もうご迷惑は、
おかけ
しませんから……

……ああ……

この子は
どれだけ

不安な想いを
したんだろう……

この部屋に

何時間も
ひとりきりで



ごめんね

謝らないといけ
ないのは私の方だ

もつと早く
ちゃんと
話しておくべき
だったね



ワカモはいつも
私のことを
考えてくれて

なんの不満も
言わないし

私こそ
ワカモに
甘えていたよ
…情けない

そんな…っ
ご自身を
そのように
おっしゃらないで
くださ…

あう



…言う通り
…なんだけど…



ワカモは、
自分がどんな
顔して
私に抱かれてるか
知ってる？

えっ



生徒と
肉体関係を
築くことに
肯定的じゃないっ
ていうのは

ワカモの
言う通りだよ





あなた様を
お待ちしていた
時間は
心配で心配で…

この身が
発情期である
ことなど
忘れておりました
のに…



ワカモ…



口づけだけで、
たちまち
いやらしい体になっ
て
しまいました…

は…

は…

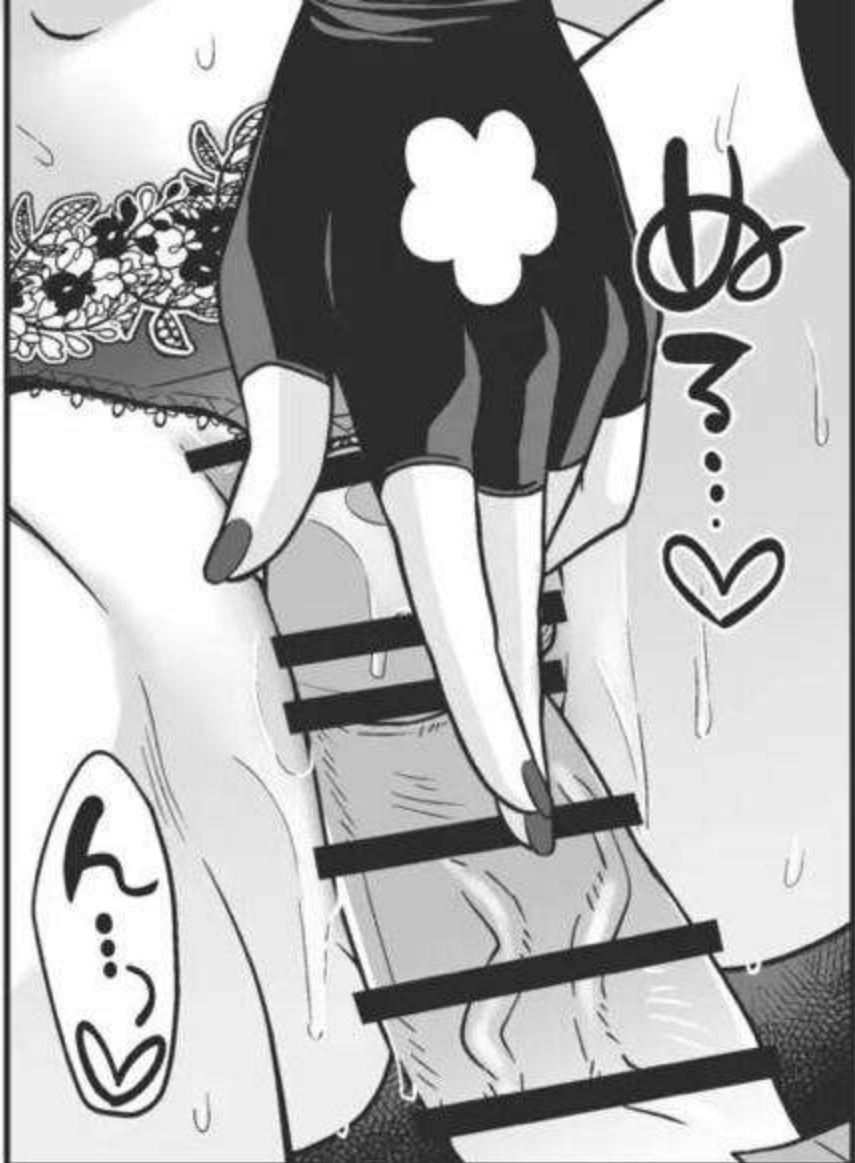




























純情

恋愛

兎情狐

あっという間にワカモ本も4冊目になりました。
いつも読んでくださっている方もこの本からの方も
お手にとってくださりありがとうございます。
今回初めて人物紹介的なものを作ってみたのですが、
「ほぼセフレ」というあまりにもあんまりな単語を使ってしまって、
我ながらどうなんだろうと思いました(笑)
相思相愛恋人同士設定はやっぱりなんか違うし、
でもワカモのえっちな姿は描きたいし、相手役は先生以外嫌だし…
という苦肉…安易かもしれない…の策です。

原稿の最中に開催された百花繚乱夏イベにワカモ出てきたり、
水着ワカモに愛用品が実装されたり、
ワカモの機運が高まっているのを感じます。続いてほしい。
出番があるたびにちょっとずつ
内面や先生との関係性に変化があるので、いつも新しい味がする子です。すき。
新しい味つながりで、今回の本はシリーズ1作目と若干つながりを持たせてあります。
お読みいただければもしかしたらちょっとだけ新しい味がするかもしれません。
既刊は電子版にて配信をしています。
電子版のほうは割引キャンペーンも随時行っているのので、
ご興味あれば読んでいただけたらうれしいです。

配信サイト(DLsite)→



最後になりましたが、ここまで読んでくださってありがとうございました。
少しでも拙作を楽しんでもらえたらうれしいです。
一ノ宮

純情・恋情・発情狐-4-

発行日：2025.08.16

発行：一ノ宮/ノミヤ組

Mail：rosapersica@gmail.com

印刷：トム出版 様

この本は個人的に作られたファンブックです。
原作、公式及び実在のものとは一切関係ありません。

WEB上への全ページ無断転載はご遠慮ください。

